

「ひろしまファミリー夢プラン」に関連する新たな取組（主なもの） 《各取組の概要》

（資料2別紙）

取組名(事業名)	環境変化の状況 (取組の背景)	今年度の事業内容	今後のスケジュール等
ひろしま版ネウボラ構築事業 (子育て・少子化対策課)	核家族化や地域とのつながりの希薄化等により、子育てに不安や負担を感じる親が増え、子育て家庭が孤立化している状況を踏まえ、「ひろしま未来チャレンジビジョン」(平成27.5月策定)において、妊娠期から子育て期における必要な支援が切れ目なく受けられるよう総合的な相談窓口の設置等、安心して子育てをするための支援体制が必要な旨を記載。	・今年度から、尾道市、福山市、海田町(19か所)において、ひろしま版ネウボラ構築モデル事業を実施 ・専門職等を確保するため、人材の掘り起しや資質向上に向けた研修等を実施。	平成31年度までに、効果の検証を行い、ひろしま版ネウボラの基本型を形成し、平成33年度以降、全県展開をめざす。
ひろしま型自然保育推進事業 (安心保育推進課)	自然保育について、保育所・幼稚園では、これまで様々な取組が実践されてきたほか、「森のようちえん」として独自に実践する団体も増えつつある。子育て家庭の多様な保育ニーズに対応し、保育サービスの満足度向上を図るため、自然保育の推進を図っていくことが必要。	今年度から、「ひろしま型しぜん保育検討会議」を設置し、認証制度の制定に向けた検討を実施。	自然保育を積極的に行う施設への認証を今年度開始するとともに、研修会・交流会の開催、自然保育スキルアップ支援及び情報発信を行うこととしている。
子どもの貧困対策 子供の生活に関する実態調査 (こども家庭課)	子供の貧困対策における施策の実施・見直しにあたり、見えにくいとされる子供の貧困の実態を把握する必要がある。	子供の貧困対策における効果的な支援のあり方を検討するために、県内市町と連携して、県全体の子供の生活実態や学習環境等について調査し、調査結果を踏まえて施策の具体化を検討する。 ①子供と保護者向け調査(7月) ②支援機関等の支援者調査(8月) ③児童養護施設等退所者調査(8月)	最終結果報告は、平成30年3月であるが、順次、速報を出し、平成30年度当初予算に事業を盛り込む。
学びのセーフティネット構築検討事業 (学校経営支援課)	平成28年2月に「広島県 教育に関する大綱」を策定、平成29年2月に「広島県教育委員会主要施策実施方針」を策定し、家庭の経済状況等に応じた適切な支援などに取り組む旨を記載。	有識者から意見を聴取し、学びのセーフティネット構築に向けた施策の方向性を具体化。	・昨年度末のキックオフ会議を含めこれまで3回会議を開催し、有識者から意見を聴取。 ・本年10月頃までに聴取した意見を取りまとめ、平成30年度当初予算で施策の具体化を図る。
「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プロジェクト (幼児教育担当)	全県的な乳幼児期の教育・保育の質の向上を図るため、平成29年2月に「『遊び 学び 育つひろしまっ子！』推進プラン」を策定。	①「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランの普及啓発(教育・保育施設、養成機関、関係団体、家庭等) ②教育内容の充実(園・所等や家庭における教育・保育の内容づくり、幼児教育アドバイザーによる訪問指導の実施、幼保小接続に係る研修会の実施) ③親等の学習機会の充実(親子での体験活動の普及、学習教材の開発) ④「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プランの推進体制の検討等	このプランでは、施策の柱を「Ⅰ 子供の育ちのつながり」、「Ⅱ 親子・地域のつながり」、「Ⅲ 行政・関係機関のつながり」とし、7つの施策ごとに今後5年間のロードマップを定めており、これに基づき様々な支援に取り組むことで、本県の乳幼児期の教育・保育の質の向上を図る。